

「ボランティアの会」緑綬褒章受賞



当院のボランティアの会が、長年による社会奉仕活動の功績により、緑綬褒章を受章しました。ボランティアの会は昭和55年7月に団体として設立以降、衛生材料の整理や車椅子の介助など、当院の支えとなり尽力されています。今後ともよろしく願います。

【理念】キリスト教精神に基づく「隣人愛」

【経営方針】この地域にしっかりと根ざし、住民に信頼される病院づくり

社会福祉法人 聖隷福祉事業団
医療保護施設・地域医療支援病院

総合病院 聖隷三方原病院

SEIREI MIKATAHARA GENERAL HOSPITAL



聖隷三方原病院は、公益財団法人日本医療機能評価機構の定める認定基準を達成しています。

就職説明会・看護体験研修のお知らせ

聖隷三方原病院に就職をお考えの看護学生の皆さまを対象に、看護師・助産師の就職説明会と看護体験研修を行います。

開催日：6月15日(土)、7月20日(土)

会場：聖隷三方原病院内(申し込みいただいた方には、別途会場のご案内をさせていただきます)

内容：就職説明会(開催日の午前9:00~12:00)
看護体験研修(開催日の午後13:00~15:30)

持ち物：筆記用具、靴(ナースシューズまたは白いスニーカー)、
印鑑

服装：軽装、清潔感のある服装でお越しください。

その他：昼食はこちらでご用意いたします。

詳しくは当院ホームページをご覧ください。

http://mikatahara-ns.net/?page_id=55#1

お申込み・お問い合わせ：

TEL、E-mailにて下記担当者宛てにご連絡ください。

聖隷三方原病院 総務課 担当：奥川・山田・鈴木

TEL：053-439-9050(直通)

E-mail：mkwebmaster@sis.seirei.or.jp

「みどりの通信」へのご意見、ご感想をお待ちしております。

皆様からお寄せいただいたご意見・ご感想を今後の誌面作りの参考にさせていただきます。

e-mail：mkwebmaster@sis.seirei.or.jp FAX：053-438-2971 みどりの通信編集部

夏期デイケアスタッフ募集

学校に通っている重症心身障害児に夏休みを活動的に過ごす場を提供するプログラムです。身辺介護と遊びのお手伝いをしてくださる方を募集しております。

期 間：8月5日(月)～8月29日(木) 土日休み
就業前オリエンテーションを8月3日(土)
10時～12時に行います。

募集人員：25名(看護・介護・保育・リハビリ等専攻の
学生さんや障害児療育に理解と関心のある方)

勤務時間：9時～17時(休憩1時間)

時 給：850円以上(経験に応じて加算)
交通費は当院規程に準ずる

お申し込み・お問い合わせ：

聖隷おおぞら療育センター 早戸・川上

TEL：053-437-1467

受付時間は平日8時30分～17時

がん患者さんのための おしゃべり会「じゃがいも」

同じ病気を抱えている患者さんといっしょにお話してみませんか？
おしゃべり会はみなさんで体験をわかちあい、支えあう会です。

日 時：6月27日(木) 13：30～14：30

場 所：聖隷三方原病院 管理棟2階 第7会議室

対 象：がん患者さんご家族

お問い合わせ：よろず相談地域支援室

浜松がんサポートセンター

TEL：053-439-9047



栄養課通信 6月

地産地消～静岡県の食材～ 「しその葉(県内全域)」

しその葉は静岡県内全域で栽培されています。遠州地方ではしそを使ったおかず「しそ巻き」として広く親しまれています。

しそにはカロテン、ビタミンB、カルシウム、食物繊維などが多く含まれており、特にβ-カロテンの含有量が多いのが特徴です。また、しそ特有の香り成分のペリラルデヒドは嗅覚神経を刺激して胃液の分泌を促し食欲を増進させたり、食中毒の予防などにも効果があります。

【選び方】

- ・色が鮮やかでハリがあり、変色していないもの。
- ・葉先までピンとしているもの。
- ・しそ独特の香りが強いもの。



簡単！旬のレシピ

今回は当院で提供している
「帆立の香り炒め」をご紹介します

4人分

ベビー帆立 ……120g しその葉 ……2g
しめじ ……80g バター ……8g
にんにく ……2g

〈栄養価 1人分〉

エネルギー	29kcal
脂質	1.1g
β-カロテン	58μg
カルシウム	16mg
塩分	0.6g



作り方

- ①しめじは子房に分け、にんにくはみじん切り、しその葉は千切りにしておく。
- ②フライパンにバターとにんにくを入れ、弱火で熱し香りを出す。
- ③しめじと帆立を入れて炒める。
- ④しめじと帆立に火が通ったらしその葉を入れて、軽く炒める。
※加減を見て、塩で味を調節する。

〈ポイント〉

- しその葉の香りと色を損なわないために、しその葉を入れたら炒めすぎないように注意しましょう。
しその香りをもっと楽しみたいときには、みじん切りにしたしその葉を最後にちらすのもお勧めです。
- 帆立は火が通り過ぎると堅くなるため、炒めすぎないように注意しましょう。

管理栄養士 西澤 愛雅

「形成外科ってなに？」 開設のごあいさつ

地域にお住まいのみなさん、はじめまして。当院では平成 25 年 4 月より、形成外科を開院いたしました。「形成外科」といわれても、あまりピンとこない方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか？ ごく簡単には「**目に見える場所の外科**」と考えていただければわかりやすいと思います。日本ではまだまだ歴史が浅く、なじみの薄い診療科かもしれませんが、その守備範囲は非常にひろく、多岐にわたっています。顔面外傷（骨折を含む）、熱傷、眼瞼下垂、耳介変形、唇裂・口蓋裂、臍ヘルニア（臍突出）などの先天異常、皮膚・皮下腫瘍、癬痕・ケロイド、褥瘡や足壊疽などの難治性潰瘍、頭頸部癌・乳癌術後の再建、その他身体中のあらゆる部位のあらゆる病態を対象としています。

また、従来では「仕方のないもの」「治らないもの」としてあきらめていた病気・症状に対しても、**形成外科独自の視点から**、あらたに解決策・改善策を提案することができるかもしれません。われわれが力になれるような困りごとがあれば、ぜひ外来でご相談ください。

私たち形成外科医は、生命にかかわる重大な病気に携わる機会というのはあまりありません。そのかわり、病気やけがによって低下してしまった生活の質を向上させ、生きがい・幸福感をとりもどすお手伝いができるものと考えています。

現在のところ常勤医師 2 名体制で、手術（週 2 回）および外来（週 4 回）・入院診療を行っています。今後さらに体制を充実させ、地域医療の発展に貢献して参ります。何卒よろしく願いいたします。

乳房再建について

不幸にもがんで乳房を失ってしまった方のために、自家組織（自分の皮膚や筋肉）を移植するなどして、あらたに乳房をつくりなおす治療があります。形成外科では、この乳房再建にも力を入れています。また、乳房切除と同時に再建も行う一期的再建に関しても、乳腺外科の先生と相談しながら対応させていただく予定です。



形成外科 部長
佐藤 誠

形成外科で扱う疾患

顔面の骨折・けが
やけど
唇裂、口蓋裂
うまれつきの耳や手足の形態異常
皮膚腫瘍、皮下腫瘍（がんを含む）
きずあと、やけどのあと、ひきつれ、ケロイド
とこずれ、足の潰瘍・壊疽
乳房再建などの、がん術後の再建
眼瞼下垂
わきが
顔面神経麻痺の再建
その他、見た目に関する問題

etc...

スタッフ紹介

〈形成外科 部長〉 佐藤 誠
神戸大学 平成 15 年卒 日本形成外科学会 専門医

〈形成外科 医師〉 辻本 賢樹
群馬大学 平成 21 年卒

ボランティアを募集しています

当院でのボランティア活動に関心をお持ちの方は、「ボランティア説明会」にぜひご参加ください。

日 時：6月19日（水）14：00～15：30

場 所：聖隷三方原病院 ホスピス2階 研修室

お申し込み・お問い合わせ：

お申し込みは6月18日（火）までに下記担当者までお願いします。

聖隷三方原病院 ボランティア担当 鈴木

TEL：053-436-1251（代表）内線 6332

E-mail：mishizu@sis.seirei.or.jp

第40回 聖隷三方原病院 病院学会写真 コンクール

優秀賞
「金環日食」
白井 初男 様



編集後記

6月といえば梅雨を迎え春から夏へ移り変わりの季節。じめじめとした雨の日が多くなりますが、上手に過ごしたいですね。ところで浜松は2012年の日照時間の長さが全国3位で、過去数年においても1位または2位だそうです。ちなみに2012年の1位は御前崎市で、静岡県は全国的に最も日照時間の長い地域といえそうです。暦の上では22日頃に夏至を迎えますが、実際には梅雨の真っ只中なので、日照時間は冬より短いことが多いようです。

発行責任者：総合病院 聖隷三方原病院 病院長 荻野 和功
〒433-8558 浜松市北区三方原町 3453
TEL 053-436-1251（代）/ FAX 053-438-2971
<http://www.seirei.or.jp/mikatahara/>